

第1回実務担当者会議 座長コメント

アジア地域の大都市が、共通の課題について共同して事業に取り組み、その成果をアジア地域の繁栄と発展につなげていくアジア大都市ネットワーク21の共同事業の1つである「中小型ジェット旅客機の開発促進」の共同事業別会議を台北市で開催した。

「中小型ジェット旅客機の開発促進」の目的は、アジアのアイデンティティをより強固なものとし、増大するアジアの航空需要に対応するため、アジア独自の中小型ジェット旅客機の開発を促進しようとするものである。

昨年10月に、東京都において、中小型ジェット旅客機をアジアで共同開発する意義などをテーマに「アジア旅客機フォーラム」を開催した。この国際会議では、「今後、開発・生産の対象となる

100席前後の旅客機像の早急な具体化」を行っていくことが、座長コメントとしてだされた。

今回、100席前後の旅客機が多く就航している台北市において、100席前後の旅客機を運航しているアジアのエアライン関係者、旅客機専門家など実務担当者が参加する国際会議を開催し、需要サイドの視点からみた理想的な旅客機像を別紙のとおり確認した。

さらに、100席前後の旅客機に関する需要予測について、アジア旅客機専門家などを中心として意見交換を行い、今後、アジアにおいて新規需要も含む大幅な需要の増加が見込まれることを確認した。

これと同時に、今回の共同事業別会議のプログラムによって、アジア諸国では、旅客機のライセンス生産、欧米との共同開発、さらに独自開発の実績があり、100席前後の旅客機開発に必要な技術力、生産力のポテンシャルが十分にあることを確認した。

今後は、販路開拓に向けたマーケティングのあり方及び既存のジェット旅客機との差別化のための戦略等について引き続き検討していく。